

箱根組ニュース

第383号 2025年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

9時間の雪中行軍、雪、雪、雪の尾根を歩く。御坂黒岳からの富士は息をのむ絶景だった！

3月22日(土)、JR新宿駅6時15分発の特別快速高尾行きに乗車したのは、川名夫人、有倉、戸丸の3名。6時48分、ネットの乗り換え案内を信じて豊田で下車。普通なら立川乗換だが、豊田駅乗り換えは、同じホームでしかも待合室まであつて快適だった。

7時過ぎの太月行きに乗り換える。八王子で西川さんが乗ってきて、本日の参加者は4名。7時48分、太月着。

富士急線乗換、7時55分発河口湖行きに乗車。車窓からは時折大きな真っ白い富士が姿を見せ期待が膨らむ。

富士山駅8時45分着。今までなら河口湖駅での乗り換えだったが、今回初めて始発駅の富士山駅に降りてみた。

9時発の甲府行きのバスに乗り込む。河口湖駅を経由し、車窓から富士を眺めながら湖畔を通って御坂山地の山に入つてゆく。山を越えて甲府につながるこのルートはなかなか魅力的だ。

9時45分、予定よりだいぶ遅れて三ツ峠入口バス停に到着。各自、身支度と

ストレッチをする。

9時52分、歩き出す。左側の車道横を進むと新御坂トンネルが正面に見える。横断歩道がないので車が多くて渡るのが少し大変だった。

トンネル手前を右に曲がつてゆく。車道に入ると、すぐに左側に登山口が現れる。

案内看板があり、その右側を真っすぐ登つてゆく。看板の左側には帰路の道が確認できた。すぐに雪道になる。最初は雪の量は少なかったが、標高が上がるにつれて積雪量は増えてくる。空は青空で木々の間からは時折富士の姿が見え隠れする。

3月19日の水曜日には東京でも季節外れの雪が降り驚いたが、やはりここは1800m近い山だ。侮れない。しかし三日ほど前のまだ新しい雪を踏んで進むのは心地よい。針葉樹のみの木や広葉樹の入り混じった林を緩やかに登つて行く。

10時51分、右に落ち込んでいるル



ートは慎重に進んでゆく。

想像したよりは傾斜は急ではないが雪に足を足られるので疲労は重なってくる。

先に歩いて行った方の踏み跡が道案内にもなりとても助かる。九十九折れに歩いてゆくのので今度は左に谷が落ち込んでいる。

11時12分、少し平坦になるが雪は深くなっている。ジグザグと右に左に折れ曲がってゆく道をじつくりと登って行く。

11時50分頃、雪はかなり深くなってくる。

12時5分、御坂峠着（1522m）ここは古い地図では旧御坂峠となっていた。右に行けば御坂山だ。地図を見ると御坂山の東側にも御坂峠がある。こちらの標高は1449mで70mほど低い。

い。

峠の辺りはかなり雪が深い。それでも何故か標識の下だけは雪が少なかった。右へ行けば御坂山

經由で清八峠、その先は三ツ峠につながる。まつす

ぐ下れば黒駒、藤ノ木方面とある。左は目的の黒岳、大石峠方面だ。古い茶店の建物らしいものがあるが営業している様子はない。小休止。

再出発。深い雪の中を進んでゆく。途中でスパッツを付ける。そのまた先ではすべりやすいのでアイゼンも装着。

尾根道は雪がないだろうとの予測も大きく外れた。ほとんどがスキー場も顔負けの深い雪の連続だ。

しかし逆に考えれば、こんな雪の中を3月に歩けるなんてとてもラッキーなことだし楽しい。深い雪の尾根のこぶをいくつも越えてゆく。

1時25分、目の前に黒岳らしき山が見えてくるがまだだいぶ距離はある。

川名夫人が少し足に來ているようでスピードが落ちてきた。無事に登って降りられるように無理はしないで進むと決める。

1時45分、岩場に雪があり登りにくいところが出てくる。一旦下りまた同じような

4月20日（日）戸塚・舞岡公園小谷戸の里ハイキング

らくだコース 歩行2時間半

横浜市戸塚区の舞岡公園でハイキングです。

※バーナーが使用できませんので各自お湯を持参してください。鍋物はやりません。

（インスタント味噌汁やコーヒーも各自持参。）

※野鳥が見られそうです。バードコール持参！

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、カップ（食器箸）、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、（痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 4月18日（金）

集合 4月20日（日）

JR東京駅 東海道本線（10番線）

8：05発 普通 小田原行（前から3両目）

手前駅発 大宮7：30 さいたま新都心7：33

浦和7：37 赤羽7：45 尾久7：50

上野7：58

途中駅発 新橋8：08 品川8：13 川崎8：21

横浜8：30

戸塚駅8：39着（東口/江ノ電バス乗換）

（8番）8：58発 京急ニュータウン行き

9時15分着（終点 京急ニュータウン）

☎ 東京～戸塚～京急ニュータウン 片道956円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯090-4541-7066

メール：satorutomaru@gmail.com

メール：tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>

さらに難所がありこれを通過。

2時18分、登りにくい場所を越える。その後、岩場は減ってきたが、雪の深い上りをじっくりと登って行く。

2時55分、ようやく黒岳山頂（1793m）に到着。山頂付近も深い雪に覆われている。記念撮影をして絶景ポイントの展望台に進む。

3時5分、息を吞む、本当に息を吞む絶景ポイントに到着。これまでの苦労がすべて報われる景色だ。富士の全容とそ



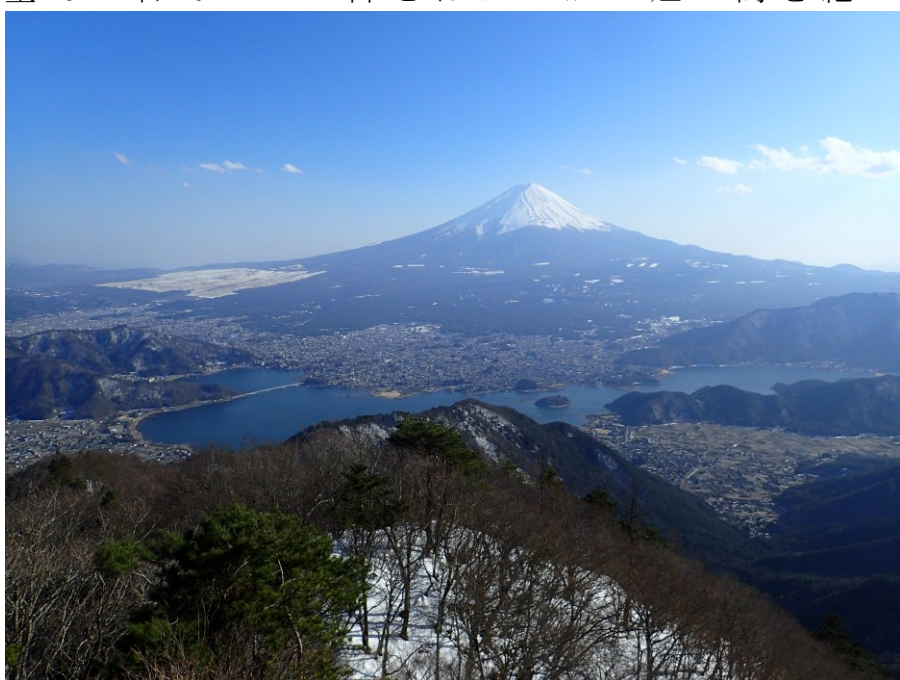
の手前の河口湖に青空。金時山、三つ峠などいろんなところで富士の絶景を見たがこれが一番と思わざるを得ない。しばらく見ていたが、時間がないので急いで、遅い、遅い昼食。お湯を沸かしている余裕はない。短時間でとにかく栄養補給。

3時半、下山開始。富士を見ながら降りてゆく。最初は急でなおかつ雪道。そしてしばらく行くとロープの付いた難所。それが2、3か所はあった。落ちないようにしっかりとロープを掴んで、木の枝を掴んで降りてゆく。

降りるペースもどんどん遅くなつてゆく。

朝のバス停に戻るのだが、最低でも下山に2時間はかかるので5時台は無理、6時台を目標にして降りる。それでも歩きにくい下りが続くのでペースはあがらない。休み休み慎重に降りる。

6時を過ぎて、6時半頃だと思うが、まだバス停まではだいぶある地点でヘッドランプを付けることに。川名夫人がヘッドランプがなかったので、先頭の戸丸と3番目の有倉の間に入ってもらい、危険な箇所は戸丸が振り返って川名夫人の足元を照らす。ヘッドランプで踏み



跡がよく見えない箇所は停まってヤマツプを確認しながらルートを見定める。7時45分頃、無事にバス停に到着。星がきれいだった。

8時12分の最終バスに乗れた。

※反省 ヘッドランプ、雨具、スパッツ等、常に万全の準備をしましょう。



